

実践臨床心理学専攻カリキュラム・マップ

凡例	科目区分	基幹科目	展開科目	学府共通科目	基本科目(カンファレンス等)	基本科目(選択)
	再掲は薄色で表示	基幹科目	展開科目	学府共通科目	基本科目(カンファレンス等)	基本科目(選択)

学修目標		専門職学位課程1年				専門職学位課程2年			
区分	専門職学位課程	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
実践	D-2.臨床心理学の知識や実習で得た知見を活かして、様々な問題を抱える現代社会に対して自ら課題を見つけ、有効な心理支援の方法を探ることができる。					総合的事例研究演習Ⅰ		総合的事例研究演習Ⅱ	
	D-1. 演習・実習を通して人の様々な生き方に対する想像性、共感的態度を形成し、豊かな表現能力およびコミュニケーション能力を活かして、協働して問題解決にあたることができる。	臨床心理地域援助学実習Ⅰ(心理実践実習)		臨床心理面接学実習Ⅱ(心理実践実習)		臨床心理面接学実習Ⅱ			
		臨床心理面接学実習Ⅰ(心理実践実習)		臨床心理面接学実習Ⅲ(心理実践実習)		臨床心理地域援助学実習Ⅲ(心理実践実習)		臨床心理面接学実習Ⅳ(心理実践実習)	
評価・創造	C-2-1.実際に担当した事例について、事例報告書や事例研究論文として整理・考察し、新たな知見や解決策を導くことができる。	臨床心理学原論演習Ⅰ		臨床心理学原論演習Ⅱ					
				臨床心理事例研究演習Ⅰ					
				臨床心理地域援助学演習Ⅱ					
適用・分析	C-1-2.支援を必要とする子ども・成人とその関係者に対してアセスメントに基づく心理支援を行うことができる。			臨床心理学実践研究法特論		人格心理学特論			
		カウンセリング特論		投影法特論		メンタルヘルス特論(心の健康教育に関する理論と実践)		教育臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	
		障害臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)							
知識・理解	C-1-1.種々の臨床心理現場における事例について、適切な心理支援を行うために心理検査等のアセスメントを実施し、見立てと方針を立てることができる。	臨床心理査定学演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)		臨床心理査定学実習Ⅰ		臨床心理面接学演習Ⅱ		臨床心理査定学演習Ⅱ	
				臨床心理面接学演習Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)				臨床心理査定学実習Ⅱ	
				臨床心理関連行政論		スクールカウンセリング特論		司法精神医学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	
主体的な学び・協働	B-2.保健医療、教育、福祉、司法、産業・労働などの種々の臨床心理領域における心理支援やそれに関する法律、制度についての知識、様々な援助方法について理解し、説明することができる。	臨床精神医学特論(保健医療分野に関する理論と展開)				医療臨床心理学特論			
		組織・集団支援学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)				福祉臨床心理学特論			
		司法・矯正臨床心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)				産業・組織臨床心理学特論			
	B-1.乳幼児から高齢者までの発達段階における心理的問題・危機についての知識、心理支援の方法について理解し、説明することができる。	臨床アクションメソッド特論		児童・青年期臨床心理学特論				臨床精神薬理学特論	
主体的な学び・協働	A-2.他の学問領域の知見のみならず実践者の経験の蓄積からも学び、また、それらの他者との協働を主導して問題解決にあたることができる。	治療構造論		学際研究論					
	A-1.専門領域および他の学問領域についての深い知識・教養を身につけ、また、それらを自分自身のもので使いこなすことによって、自ら問題を見出し、創造的・批判的に検討することができる。	臨床心理地域援助学演習Ⅰ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)							
		人間環境学							
区分	修士課程	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
学修目標		修士1年				修士2年			
アセスメント・プラン		入学時、専門職学位課程2年への進級時、修了時の計3回実施するディベロップメント調査、専門職学位課程2年前期・後期に実施する事例研究論文等の発表会において、学修目標の達成度を確認する。							